

「今、同窓会は」

同窓会会長 坂本 毅(二回生)

今年二十三回生四五二名を迎え
会員数九一三六名になりました。
三月六日の卒業式の予行で入会
式が行われ、その後各クラスの評

同窓会だより

'95/4 No.7 埼玉県立坂戸高等学校同窓会 坂戸市上吉田586 題字 山本清光先生
(0485)81-3535



坂戸高校に着任して

校長

創立二十六年目を迎えた輝かしい伝統のある坂戸高校に着任して、身の引き締まる思いがしております。高校教育が進展する現在、伝統を大切にしながら、時代の要請を積極的に汲み取り、教育内容の一



議員の中から、奥浩志君と宇留野真紀さんが代表評議員に選ばれました。同窓会は親睦団体ですから、全

て奉仕的に自分達で運営していきまが、私も含めて年齢がいくにしたがって、仕事が忙しくなり、なかなか会合もできなくなったり、また、若い人は仕事で落ちつくまで、なかなか継続できない状況です。しかし、毎年少しずつですが、新しい人が加わっています。ただ、この同窓会だよりに携わる人が少ないので、会員の中で協力して頂けるなら、事務局に申し出て頂きたいと思っております。

また、同窓会が過去7年間共催の形で協力してきた「かえる祭」の文化部総合発表会が今年の第8回で終わりになるので、「ゲスト講演」や「卒業生の集い」などの同窓会の活動を今後どのようにして行くのか、大きな問題として残ることになりました。

最初に述べたように、同窓会は親睦団体ですから、今後の坂戸同窓会の在り方が今後検討課題となることでしょうか。会員みなさんの

母校近況

持田 秀 男(七回生) 4月より日高高校勤務

私が、坂戸高校へ着任して、4年の間、坂戸高校では、プール棟、外国語科棟(外国語授業のための特別教室)の新設、校舎3棟の外壁塗装などの施設充実が行われ、平成8年3月には第二十三期の卒業生(現在までの総数9145名)を送りだしました。また、外国語学科の設置により

外国人講師3名が常勤しているほか、オーストラリアの高校生との国際交流授業、国際理解講演会の実施など身近な国際化が行われています。それでは、主役の坂高生はどうなのか? 主観ではありますが、第一に、高校生全般のことなのか、もしもありませんが、個性的な生徒が姿を消し、時流に適應(流され?)した生徒が目立っている。

かえる祭について

第7回かえる祭実行委員長 小高 真知子

他校には見られない、年2度の文化祭。これは、坂高の特色の一つに数えられていたことと思えます。しかし、それも今年で終わりのようです。開催する意義、生徒の姿勢、主催部署について、そして、多額の費用。その他にも多くの問題を抱えていた「かえる祭」が、第8回を最後に開催を打ち切られることになったからです。

私個人としては、このことは非常に心残りです。前回ようやく改善層の充実に努めてまいりたいと思

じます。同窓生の皆さんには、何かとご支援・ご協力をいただいておりますが、今後とも母校発展のために、ご協力お願いいたします。

島田 勲

平成七年度同窓会総会報告

平成七年四月十六日、平成七年度同窓会総会が母校の「文化部総合発表会」と合わせて坂戸文化会館で開催されました。

会長のあいさつの後、名誉会長のあいさつ、平成六年度事業報告、会計報告に続き、平成七年度事業計画案、予算案が審議され、承認されました。

総会終了後、例年とおりの立食パーティーで「卒業生の集い」が開かれ、約六十名の卒業生が参加し、なごやかなひと時がもたれました。



高校卒業五年目に思うこと...

原 明 子(十八回生)

高校を卒業してから、早5年経ちました。大学に進学した人もほぼ卒業し、社会人として働いている人も仕事に慣れ、そろそろ高校の次のステップを卒業する時期です。先日、久しぶりに同窓会を行いました。連絡の不備があり、残念ながら集まり状況は悪かったのですが、懐かしい顔が見られました。卒業以来初めて会う人もいました。話をしているうちに高校時代に戻ってしまふ気がしました。

高校時代は、勉強と部活のみに時間を注いでいたのですが、坂高出身の人と知り合うたびに、学生時代が懐かしく思い出され、社会で活躍している人達に会うことで心強く母校が誇りに思えます。

ゲスト講演

四月十六日坂戸文化会館で開催された、「文化部総合発表会」の中で同窓会の主催するゲスト講演がおこなわれ、ゲストのタレントで、テレビでおなじみのダニエルカールさんが約一時間にわたる楽しいお話をしてくることができました。



平成八年度同窓会資料

平成八年度新役員

- 会長 坂本 毅(一回生)
- 副会長 小塚 一郎(三回生)
田中 康夫(四回生)
清水 芳昭(五回生)
- 会 計 小園 雅子(九回生)
- 常任評議員 関根 和幸(七回生)
小川 毅(八回生)
- 監事 浅野 昭一(九回生)
細田 淳一(九回生)
- 顧問 吉田 勇一(三回生)
田田 秀男(七回生)
- 原 明子(十八回生)
半澤 伸夫(十九回生)
石井 裕一(十九回生)
田中 綾子(二十一回生)
土持 浩明(二十一回生)

同窓会評議員(二十三回生)

- 一組 奥 浩志・鈴木 康之
- 二組 鈴木 誠・水巻千枝子
- 三組 池田 賢輔・大平 裕樹
- 四組 内山 篤・尾本 美佳
- 五組 熊谷 綾子・吉田 央枝
- 六組 上野 宗・星野 稔
- 七組 三好 愛子・山下 愛子
- 八組 酒本 俊平・橋本 直
- 九組 宇留野真紀・高橋 愛美
- 十組 木村 有里・森田 明義



平成8年度事業計画

4月16日 2/ 総会 坂戸文化会館
春の文化部総合発表会
ゲスト講演
家田 荘子
役員会
3月 入会式

平成7年度事業報告

4月16日 総会 坂戸文化会館
春の文化部総合発表会
ゲスト講演
ダニエルカール
「同窓会だより」第7号 発行
役員会
12月 入会式
3月

平成8年度 予 算(単位は円)

1. 歳入

科 目	予 算 額
繰 越 金	38,896
23回生入会金	1,808,000
雑 収 入	1,000
合 計	1,847,896

2. 歳出

科 目	予 算 額
庶 務 費	120,000
会 議 費	100,000
慶 弔 費	20,000
事 業 費	1,600,000
(春の文化祭)	(1,200,000)
(事業準備金)	(400,000)
予 備 費	7,896
合 計	1,847,896

平成7年度 会 計 報 告(単位は円)

1. 歳入

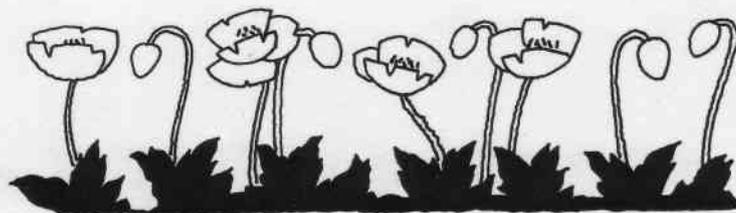
科 目	予 算 額	決 算 額
繰 越 金	49,609	49,609
22回生入会金	1,820,000	1,820,000
雑 収 入	2,000	1,177
名簿売上金		7,500
合 計	1,871,609	1,878,286

2. 歳出

科 目	予 算 額	決 算 額
庶 務 費	100,000	61,608
会 議 費	150,000	55,160
慶 弔 費	20,000	10,300
事 業 費	1,600,000	1,712,322
(春の文化祭)	(1,000,000)	(962,322)
(事業準備金)	(600,000)	(750,000)
予 備 費	1,609	0
合 計	1,871,609	1,839,390
繰 越 金		38,896

編 集 後 記

今回も担当者が忙しくてうまく作成できませんでした。その代わり形式を変えてみました。編集に携わる人を求めています。希望者は事務局まで申し出ていただきたいと思います。



《同窓会だより》(第八号)
編集発行

埼玉県立坂戸高等学校同窓会
印刷 トキワ印刷所

〇四九三一二一〇八六五